



うになつたので、眼鏡はしばらくで、かけないようにしたのです。眼鏡をかけているときはカバンの中にそれを入れて持っていたのですが、かけないようになつてからは、眼鏡の分だけカバンが軽くなつたのです。カバンはなるべく軽いように、また場所をとらないようにして最小限、必要なものだけしか入れないのです。それからひげですが、これは鏡がないと手入れができないので非常に不便です。また手入れするには時間がかかるのです。時間がかかるのはもったない、これは速記精神に反するというわけで、昭和二十四年でしたか、ある朝、剃ってしまったのです。しかし髪だけはそのままずっと長くのばして分け、今日にいたっているのです。